

2025年度 勉強会概要



勉強会の日程や最新情報は大阪学習センターウェブサイトまたはセンター内掲示でご確認ください。

※赤字の先生は2025年度新任の先生です。

	分野	担当講師	職名	タイトル	概要
通年開催	材料力学 衝撃工学 & 植物 バイオメカニクス	小林 秀敏	客員教授	固体力学アラカルト	勉強会では、材料力学に関連した面白そうな話題、例えば、水面に浮いたオオオニバスの葉に人が乗っても沈まないのは何故か？とか、側面多角形円筒の美しいランプシェードが無理なく折りたためる秘密とは？というような、暮らしの中の小さな力学的話題を取り上げて、力学、特に材料力学の側面から考察してみたいと思います。
	微分幾何学	小林 治	客員教授	数学の話題あれこれ	参加者の提案に応じた話題を解説します。昨年は主にトポロジーの話題を取り上げました。物理学に関係する数学の希望もありましたが、本年度に持ち越しこの話題から始める予定です。これまで高校初年級または公共の図書館で自習可能な範囲の数学を前提としてきましたが、本年度は微分積分の基本事項と若干の抽象数学を断りなしに用います。 とは言え高等数学に不慣れな参加者にも得るところがあるような解説になるよう努めます。
	看護学	佐藤 都也子	客員教授	“生きる”を支える看護の実践と科学	少子超高齢化の進展や多死社会が到来し価値観が多様化している現代において、「人生の最期まで自分らしく“生きる”」に寄り添う看護の実践科学を事例や文献を活用して考えていきます。また、皆さんの興味あるテーマについてもディスカッションします。
	化学 高分子化学	佐藤 尚弘	客員教授	ノーベル化学賞と日常生活	ノーベル化学賞の受賞対象研究が、私たちの日常生活にどのように役立っているかを、テキスト「ノーベル化学賞に輝いた研究のすごいところをわかりやすく説明してみた」(山口悟著:ベレ出版)を読みながら、学習していきます。文系の方でも研究内容がわかるように解説します。
	経済史・経営史	鳩澤 歩	客員教授	グローバル経済史をドイツから読む	GDP世界ランキングをわが国と競争(?)しているドイツ経済は、世界経済における重要なプレイヤーです。このドイツ経済がどのように成り立ってきたのかを、様々な視角から考察したいと考えます。担当者は西洋経済史・経営史の専門家であり、とくに経済部門としての鉄道業について研究してきました。ときには日独関係の歴史的な展開にも触れていきます。
	社会心理学・法と心理学	綿村 英一郎	客員教授	集団の心を読み解くー心理学で学ぶ人と人のつながりー	なぜ集団の中では人が変わったように振る舞うのか？どうして多数の意見に流されやすいのか？この勉強会では、日常や社会でよく見られる「集団心理」に焦点を当てます。参加者同士で考えや意見を共有しながら進める双方向型の講座です。職場や地域、家族の中でも役立つヒントを楽しく学び、使える形にして持ち帰りましょう！毎回出席する必要はありません。気軽に参加してください。
前期のみ開催	行政法	林 晃大	客員教授	環境保護について考えるー環境法の視点からー	環境保護は、いまや地球規模で取り組まなければならない喫緊の課題です。この勉強会では、環境保護を法政策の観点から皆さんと一緒に学んでいきたいと考えています。
	哲学・倫理学	堀江 剛	客員教授	哲学対話を楽しむ	哲学対話、特に哲学カフェを行い、その進行のやり方なども学びます。特に予習の必要はありませんが、積極的に「対話」に参加すること、また対話の進行役を試みることを期待されます。
後期のみ開催	情報工学	安留 誠吾	客員教授	情報ってなに	2025年度の大学入学共通テストから「情報」が始まりますが、そもそも「情報」ってなんなんでしょう。これからの情報社会を生き抜くために必要なコンピュータやインターネットの仕組み、そしてAIなど情報科学の基礎を学びます。また情報に関わる最新の話題を取り上げて議論します。
	近現代日本語文学	渡邊 英理	客員教授	夏目漱石を読む	この授業では、夏目漱石の主要作品(小説と批評)を読み解き、その作品世界を味わうとともに、その思想の射程を探っていきます。作品の理解を促す時代背景や同時代の社会状況を踏まえて作品を精読し、あわせて、作品の世界から過去の、そして現在の世界や社会をめぐる知見を得ることも試みたいと思います。